

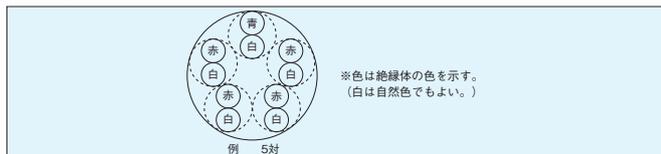
# 市内対ポリエチレン絶縁ケーブル (CPEV-S(CU))

関連規格 **JCS 5224**

## ●特長

1. 電気的特性がすぐれており、かつ安定しております。
2. シースに亀裂等の損傷を受けて浸水しても直接通話障害を受けることはありません。
3. したがって保守費が低廉になります。
4. 電食・化学腐食のおそれがありません。
5. 軽量であり、運搬、布設、架設作業が容易であります。特に自己支持形では建設費が安価になります。

## ●識別



## 構造



CPEV-S(Cu)

## 電気的特性

項目	単位	特性値		
		0.65mm	0.9mm	1.2mm
導体抵抗	Ω/km	56.8以下	29.2以下	16.5以下
絶縁抵抗	MΩ・km	10,000以上		
耐電圧	V-1分間	DC500またはAC350	AC700	AC1,000
静電容量 (1kHz)	nF/km	平均60以下		
特性インピーダンス (1kHz)	Ω	約580	約420	約310
減衰定数 (1kHz)	dB/km	約1.1	約0.8	約0.6

架空で使用する場合	シース上がい装を施さないいわゆる非ケーブルでよい。なお、自己支持形ケーブルを用いれば布設が容易で工事費も安価である。
施下で使用する場合	管路内布設は非ケーブルでよく、トラフ内布設の場合も原則として非ケーブルでよい。地中直埋あるいは鉱山内布設のような土圧または外傷を受けやすい場所には波付銅管がい装ケーブルまたは銅帯がい装（必要によりプラスチック防食）ケーブルが望ましい。
河底・海底に布設する場合	原則として鉄線がい装ケーブルを用いる。
誘導のある場所に使用する場合	電力線に近接する場所または雷害の多い場所に布設する場合はアルミテープ、銅テープなどの静電しゃへい構造とし、特に電磁誘導のある場合はそれに応じた電磁しゃへいを施した構造とする。
猟銃や鼠害のおそれのある場合	波付銅管がい装シース、銅帯がい装ケーブルが望ましい。

## ●構造表

導体 (mm)	対数	絶縁体厚さ 約 (mm)	シース厚さ 約 (mm)	ケーブル外径 約 (mm)	概算質量 (kg/km)
0.65	3	0.3	1.5	9	90
	5			10	120
	7			11	145
	10			12.5	175
	15			14.5	230
	20			15.5	280
	30			17.5	390
	50			22	570
	100		29	1080	
0.9	3	0.4	1.5	11	135
	5			12.5	175
	7			13.5	210
	10			15	270
	15			18	370
	20			19.5	455
	30			23	635
	50			28	995
	100		40	1910	
1.2	3	0.5	1.5	13.5	195
	5			15	255
	7			17	315
	10			18.5	410
	15			21.5	560
	20			24	720
	30		29	1070	
	50		36	1710	